

宮城県

1. 商品名等

商品名	鹿島台商業オリジナルブレンドコーヒー	
商品写真(イメージ等)	商品説明(コンセプト等)	
	4カ国の豆をブレンドし、中深煎りの焙煎度合いでしっかりと苦みを感じながらも、すっきりと飲みやすい味わいとなっている。 生徒がテイスティングを繰り返し行い、年配の方が好みそうな味を追究しつつ、コーヒーが苦手な方でも飲みやすく仕上げた。 また、ドリップバッグのラベルシールについて、校章と春らしいデザインと、本校の略称の鹿商（KASHO）をコーヒーカップに見立てたデザインの2種類を生徒が作り上げた。	

2. 学校紹介

学 校 名	宮城県鹿島台商業高等学校	電 話	0 2 2 9 - 5 6 - 2 6 6 4
住 所	宮城県大崎市鹿島台広長字杵師前 44	F A X	0 2 2 9 - 5 6 - 2 4 6 1
担 当 者	荒 井 永 人	石 川 清 志	牛 袋 和 義
U R L	https://kasimadai-ch.myswan.ed.jp/		
E-mail	Kasimadai-ch@od.myswan.ed.jp		

教育基本方針は「生徒が心身ともに健康で、将来、社会において活躍できる人材となれるよう基本的な生活習慣を身に付けさせ、社会で必要な知識や技術の修得ならびに倫理観や道德心の涵養に努める。もって生徒や保護者、地域の期待に応えられる学校を目指す。」です。起業家教育をさらに発展させ、地域と連携した活動を行う中で、人とのつながりを大切にし、他者を思いやる心を育てていきます。また、学習習慣を確立させるとともに、進路指導を中核に3年間を見通した系統的なキャリア教育を推進し、進路意識の高揚を図ります。学校行事と部活動を活発化させ、生徒が充実感を味わえるような学校づくりに努めています。

3. 実施科目等

科 目 名	学年行事	単 位 数	なし
対 象 生 徒	2 学 年（令和6年度入学生）	担当教員数	6 名

4. 予算関係(費用)

東北プレス工業株式会社が全額負担

5. 開発経緯等

- 2024 年 11 月 鹿島台秋の互市において、東北プレス工業株式会社がコーヒーの販売をする際に生徒が販売補助を行ったことが発端となった。
- 2025 年 2 月 東北プレス工業株式会社社長による経営者講話において、鹿島台春の互市にてコーヒーを販売するために、原価計算やコーヒーの味の選定、利益創出のアイデア出しを依頼され、開発がスタートした。
- 学年集会において、正式な詳細の依頼の説明と、商品開発・広報・営業企画の3班に分ける希望調査を行った。
- その後、商品開発班は、HATANAKA COFFEE ROASTER 協力のもと、コーヒーのテイスティングを行った。この時点では、深煎りと中煎りの中間のテイストがよさそうであるという方向性のみが決まった。
- また、広報班は、当日に配布するチラシとドリップバッグに貼るラベルシールの作成、営業企画班は原価計算を行った。
- 3 月 商品開発班は、2 回目のコーヒーのテイスティングを行った。中煎りと深煎りと中深煎りを比較し、中深煎りがターゲット層に受け入れられそうであることを確認し、HATANAKA COFFEE ROASTER に発注依頼をした。また、月末にラベルシールが仕上がり、ドリップバッグに貼る作業を全員で行い、商品が完成した。

6. 販売形態・期間

④
・
無

2025 年 4 月 鹿島台春の互市において 3 日間限定で販売。
1 個 300 円、2 個セットで 500 円の価格設定。

7. 協力者等

④
・
無

東北プレス工業株式会社
HATANAKA COFFEE ROASTER

8. 商標登録の有無

有
・
無

9. 今後の課題・展望等

2025 年 11 月の鹿島台秋の互市で、今回の反省をいかしながらい改良を加え販売する予定である。学年の行事で行ったが、商業科の授業の一環として継続した取り組みにしていく方向である。今後は、コーヒーのかすの再利用の検討等、令和 9 年度に新設される学校の高校生カフェに繋がる取り組みにしたい。